

## 様式第4号(第3条関係)

①

## 防火対象物使用開始(変更)届出書

①

		② 年 月 日	
宛		届出者 ③ 住 所 (電話 ) 氏 名	
所 在 地	④ 電話		
名 称	⑤	主 要 用 途	⑥
建築確認年月日	⑦	建築確認番号	第 ⑧ 号
※消防同意年月日	⑨	※消防同意番号	第 ⑩ 号
工事着手 年 月 日	⑪	工 事 完 了 (予定)年月日	⑫ 使 用 開 始 (予定)年月日
他の法令に による許認可	⑬		
敷 地 面 積	⑭ m <sup>2</sup>	建 築 面 積	⑮ m <sup>2</sup>
従 業 員 数	⑯	公 開 時 間 又 は 従 業 時 間	⑰
屋 外 消 火 桟 動力消防ポンプ 消防用水の概要	⑲		
そ の 他 必 要 事 項	⑳		
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄		

防 火 対 象 物 棟 別 概 要 第 ② 号	用途	②②			構造	②③		
	種別 階別	床面積 m <sup>2</sup>	用途	消防用設備等の概要				特殊消防用 設備等の 概要
				消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上 必要な施設	
②④	階	②⑤	②⑥	②⑦	②⑦	②⑦	②⑦	②⑦
	階							
	階							
	階							
	階							
②①	階							
計								

## 備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに「第5号様式防火対象物棟別概要追加書類」に必要な事項を記入して添付すること。
- 3 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 4 建築面積及び延面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれの合計を記入すること。
- 5 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
- 6 ※印の欄は、記入しないこと。
- 7 防火対象物の配置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書(消火器具、避難器具等の配置図を含む。)を添付すること。

## 防火対象物使用開始(変更)届出書の記載要領

### ◎記入方法

- ①使用開始又は変更のうち、該当しない方に横線で見え消しをしてください。
- ②届出年月日を記入してください。
- ③防火対象物（テナント部分等含む）を使用する者の住所、氏名及び電話番号を記入してください。  
法人の場合は、法人名、代表者の職・氏名、電話番号を記入してください。
- ④防火対象物の所在地、電話番号を記入してください。
- ⑤「○○株式会社××支店」、「□□ビル」等、防火対象物の名称を記入してください。  
テナント部分等の届出の場合は、括弧書きでテナント部分等の名称を記入してください。
- ⑥消防法施行令別表第1に掲げる用途区分を記入してください。  
わからない場合は「飲食店」、「店舗」、「工場と事務所の複合」等、防火対象物の具体的な使い方を記入してください。
- ⑦新築の場合は、確認申請書に記載されている建築確認年月日を記入してください。  
不明である場合は空欄で構いません。
- ⑧新築の場合は、確認申請書に記載されている建築確認番号を記入してください。  
不明である場合は空欄で構いません。
- ⑨記入しないでください。
- ⑩工事着手年月日を記入してください。  
不明である場合は空欄で構いません。
- ⑪工事完了年月日を記入してください。  
不明である場合は空欄で構いません。
- ⑫使用開始予定年月日を記入してください。
- ⑬他の法令による許認可がある場合は記入してください。  
例：「建築基準法第43条第1項ただし書き」等
- ⑭届出する防火対象物が存する敷地の面積を記入してください。  
不明である場合は空欄で構いません。
- ⑮⑯の敷地に存する建築物の建築面積を合算した値を記入してください。  
敷地全体の合算が不明である場合は、使用する棟の面積で構いません。
- ⑯⑰の敷地に存する建築物の延べ面積を合算した値を記入してください。  
敷地全体の合算が不明である場合は、使用する棟の面積で構いません。
- ⑰届出する防火対象物の従業員数を記入してください。
- ⑱営業時間を記入してください。
- ⑲屋外消火栓設備、動力消防ポンプ及び消防用水が設置されている場合は、概要を記入してください。  
不明である場合は空欄で構いません。
- ⑳届出理由を記入してください。例：1階テナント部分に飲食店を開設するため。
- ㉑敷地内に防火対象物が複数棟ある場合は、棟ごとに「防火対象物使用開始(変更)届出書②」を添付していただくため、棟ごとに「1」「2」…と番号を記入してください。

②消防法施行令別表第1に掲げる用途区分を記入してください。

わからない場合は「飲食店」、「店舗」、「工場と事務所の複合」等、防火対象物の具体的な使い方を記入してください。

③防火対象物の構造を記入してください。

例：「木造」、「鉄骨造」、「鉄筋コンクリート造」等

④階数を記入してください。

なお、8階以上となる場合は「防火対象物使用開始(変更)届出書②」を複数枚使用してください。

⑤階ごとの床面積を記入してください。

⑥階ごとの消防法施行令別表第1に掲げる用途区分を記入してください。

わからない場合は「飲食店」、「店舗」、「工場と事務所の複合」等、防火対象物の具体的な使い方を記入してください。

⑦設置されている消防用設備等の概要について、「消火設備」、「警報設備」、「避難設備」、「消火活動上必要な施設」の区分に応じて記入してください。

#### ◎注意事項

1. 配置図、各階の平面図及び消防用設備等の図面を添付してください。
2. 新築の場合は、確認申請書の第1面から第6面の写しを添付してください。
3. 消防法上の有効開口部の算定結果がわかる図書を必要に応じて添付してください。